

平成30年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」下長中学校区実践計画書

事務局 下長中学校（教頭 鎌田 康由）

1 主題（5年次）

「確かな学力の育成につながる小・中連携の在り方はどうあればよいか」

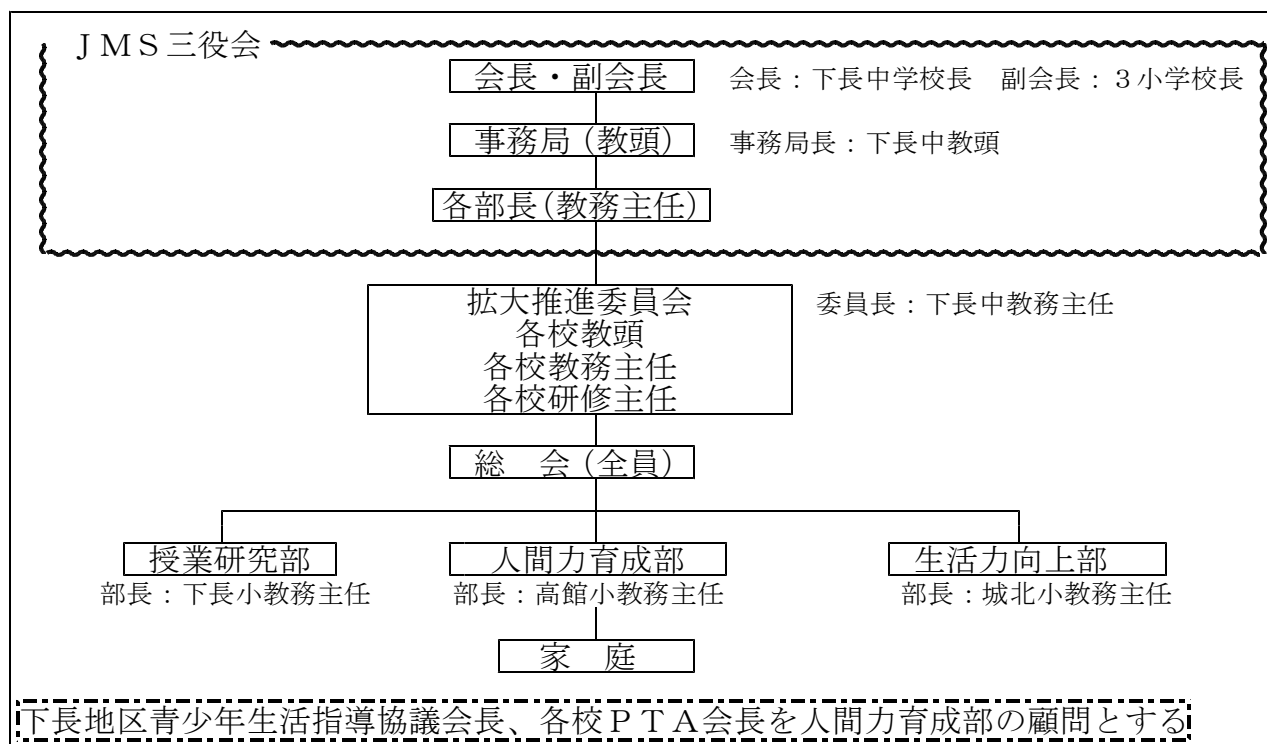
2 主題設定の理由

下長中学校区における小・中学校ジョイントスクール推進事業（ジョイントミーティング下長：略称JMS）では、現在まで様々な取組を行ってきた結果、小・中学校はどこも落ち着いた生活ができている。

一方、生活面では、校内では挨拶ができるが、地域に出て行った時に元気な挨拶がまだ十分ではない。学習面では「進んで学習に取り組む」「課題意識をもつ」「表現力の育成」など各校とも様々な課題が浮き彫りになっている。

そこで、昨年度に引き続き「確かな学力の育成」を目指し、「気持ちのいいあいさつができる」と「家庭学習ができる」に加え「読書・新聞の活用」を柱とし、今年度も取り組むこととした。「気持ちのいいあいさつができる」については、各学校と地域の青少協と連携しながら、年3回あいさつ運動を軸にしながら取り組んでいきたい。また、「家庭学習ができる」については、年2回のアンケート調査により子どもたちと家庭環境を掌握し、指導を進めていきたい。読書や新聞の活用に関しては、各校の実践状況を共有しながら小・中で共通して取り組んでいけることについての研究を進めていきたい。この三つを柱に、小・中連携開始時から掲げられてきた「力ある『いい人間』になるための5原則」への取組により「生活力を高める」指導を基盤として、子どもたちに確かな学力を育成したい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

下長中学校区 重点指導項目

- ① 気持ちのよい返事やあいさつができる
- ② 家庭学習ができる
- ③ 読書・新聞を読んで活用できる